

社会福祉法人福岡光明会 松月園

法人概要

【所在地】福岡市南区老司5-12-4

【設立】平成元年7月

【従業員数】55人

【事業内容】平成2年に盲養護老人ホームを開園。平成8年に特別養護老人ホームを開園。視覚障がい者と高齢者のニーズに対応するための専門性に基づいた介護サービスに取り組む。また、自立支援介護を実践し、在宅復帰を視野に入れた地域福祉の拠点を目指している。



○老司マルシェ

地域のみなさまに施設のことを知ってもらいたい、役に立ちたい、という思いから、平成28年より毎年5月と10月に施設の駐車場スペースを開放して、「老司マルシェ」を開催しています。

参加者に楽しく買い物をしてもらうために、飲食・雑貨・観葉植物・バルーンアートなど多様な業種が出店しています。地域の方によるフリーマーケットやお楽しみ抽選会なども行われ、毎回多くの来場者でにぎわっています。

参加者からは、「マルシェをきっかけに施設の方と知り合えたことで、何かあったときに相談できる」と好評で、「地域に溶け込んだ施設」を目指し、今後もイベントを継続する予定です。



お楽しみ抽選会



駐車スペースを利用して開かれるマルシェ

【社会福祉法人福岡光明会 理事長 田代 由美 さん】

「施設の開設以来、地域との交流のために夏祭りを実施していました。平成28年に行った施設の改築を機に、スペースを活用したマルシェを開催しています。参加者の方からアンケートでいただいたご意見を取り入れて、より楽しめるイベントとなるよう出店数も増やしていきたいと思っています。これからも地域のみなさまとの交流を続けていきたいと考えています。」

ウェルビス悠愛 株式会社

会社概要

【所在地】福岡市南区日佐4-39-28

【設立】平成17年1月

【従業員数】141人（パート含む）

【事業内容】高齢者福祉事業。「悠愛デイサービスセンター」や「住宅型有料老人ホーム ビバール悠愛」など福岡市内に4施設を運営。「命を護る。命が輝く。」を企業理念に、利用者一人一人にとって過ごしやすい環境づくりを目指している。



○地域カフェへのスペースの提供

区・校区の社会福祉協議会が主催する地域カフェ「おさカフェ」の会場として、毎月1度、悠愛デイサービスセンター2階のコミュニティーホールを提供しています。「施設内の部屋を地域住民に開放したい」という同社の意向と、地域カフェの開催会場を探していた社会福祉協議会のニーズが一致し、平成27年にスタートしました。

同社の職員が運営に関わり、法律に関するプチ講座や、介護に関する相談、自宅でもできる簡単なストレッチ、ハンドマッサージコーナーなど多様なプログラムを実施し、専門家にも気軽に相談できる雰囲気の中で多くの交流が生まれています。また、同じく「おさカフェ」の会場を提供している株式会社メモリードとも連携し、地域の憩いの場を目指して活動しています。

参加者からは、「ネイルやハンドマッサージのコーナーもあって、とても気持ちがいい。」と、喜ばれています。



プチ講座



タオルを使った体操



ハンドマッサージコーナー

【ウェルビス悠愛 株式会社 秘書室 室長 山崎 英治 さん】

「地域のみなさまと深いご縁を築き、その大切なご縁を守り続けるために、地域貢献事業を行っています。『おさカフェ』は地域の“交流の場”で、どなたでも参加ができます。今後も社会福祉協議会などと連携して様々なプログラムを実施してまいりますので、多くの人にご参加していただきたいと思っています。また、コミュニティーホールは、地域の方にもご利用いただけますので、カフェにお越しただいてぜひ見学して欲しいと思います。」

※株式会社メモリードの地域活動事例については、P.11, 12で紹介しています。

スポーツガーデン株式会社

会社概要

【所在地】(本社) 久留米市諏訪野町2378

(大橋シティボウル) 福岡市南区塩原4-13-23

【設立】平成18年4月

【従業員数】105名(うち正社員23名)

【事業内容】「大橋シティボウル(南区塩原)」, 「スポガ香椎(東区千早)」, 「スポガ久留米(久留米市)」の運営。大橋シティボウルでは、「イベント満足度日本一」を目指して様々な企画を実施。



○八起祭(やおきさい)と廃ピン相撲

八起祭の名前の由来は、明治時代に暴風雨で倒れた熊野道祖神社(南区塩原)のご神木が一夜で起き上がった言い伝えや、倒れても元に戻るボウリングのピンから「七転び八起き」にかけてのものです。

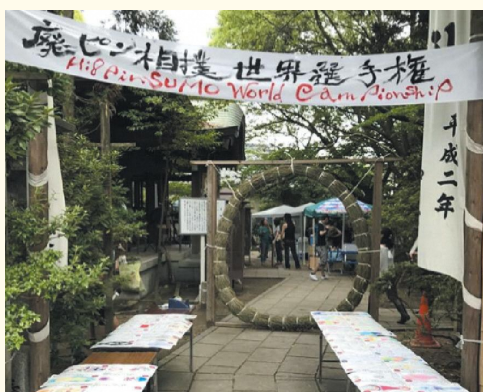
大橋シティボウルが参加している「大橋のまち・活性化委員会」は、平成27年から毎年7月8日(やおきの日)に、同神社でお祭りイベント「八起祭」を開催しています。

「地域がみんなで繋がる、みんなで盛り上げる、みんなで笑顔になる、そんな八起祭にしたい!」という思いから、なるべくお金をかけない手作りの運営をしています。メインイベントである「廃ピン相撲」の優勝者には「ヤオキング(八起王)」の称号が与えられるなど、遊び心のある企画で親しみやすいイベントとなっています。

また、毎年、様々な工夫(文化向上イベント)をしようと考えていて、平成29年には、ボウリングピンデザインコンテストも開催されました。そのほか、廃ピン相撲に加え各種露店やビンゴ大会などが実施され、多くの参加者が楽しんでいました。



平成29年のチラシ



熊野道祖神社の境内で開催



大人も子どもも楽しめる廃ピン相撲

※廃ピン相撲は、廃棄されるボウリングピンを再利用して力士に見立て、台の上の土俵をたたいて相手のピンを倒すゲームです。

○ボウリングによる地域交流

大橋シティボウルでは、楽しく体を動かしながら健康づくりに取り組んでもらうための「健康ボウリング教室」を開催しています。全6回のスケジュールで行われ、未経験の方でも参加することができます。平成24年に始めた取組みで、平成29年6月の開催までで延べ1,000名を超える方が教室に参加されています。

また、地域の方々が校区単位で参加するイベント、「チーム対抗早朝ボウリング大会」を企画するなど、地域交流の促進にも取り組んでいます。

老若男女問わず楽しむことができるボウリングは、参加者の交流の場になっており、参加者からは、「楽しみながら運動を続けられる。」「たくさんの友達ができました。」と喜ばれています。



ボウリング教室の様子



ボウリングを楽しむ皆さん



【スポーツガーデン株式会社 取締役 吉田 勝 さん】

「八起祭、廃ピン相撲は『大橋のまち・活性化委員会』のメンバーみんなと考えて形になったイベントです。回を重ねるごとに地域のみなさまに知っていただき、子どもたちが1日に何度も足を運んでくれるお祭りになってきています。これからもこのお祭りを大切にして、地域を盛り上げていきたいと思っています。

また、ボウリング場としてできる地域貢献にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。ボウリングは天候に左右されず、老若男女が一緒に楽しみ、ハイタッチなどで触れ合い、笑顔で楽しめるスポーツです。ボウリング場を活用して、地域の交流コミュニティの場にしていきたいと思ひます。

最後に、大橋のまち・活性化委員会メンバーへ、この場を借りて心より感謝申し上げます。」

～大橋のまち・活性化委員会について～

八起祭など、大橋のまち・活性化委員会の活動にご興味のある方は、日本廃ピン相撲協会のHP並びに、大橋のまち・活性化委員会 Facebook ページをご覧ください。

https://peraichi.com/landing_pages/view/hi-pin-sumo

<https://www.facebook.com/ohashinomachi/>

※宮田学園こども食堂で開催された廃ピン相撲について、P6で紹介しています。

福岡市の事業紹介

○感謝状の贈呈

福岡市では、平成28年度より、自治協議会、自治会・町内会などが行うまちづくりに、特に貢献する活動を行っている企業や商店街、事業者などに感謝状を贈呈する制度を設けています。

この制度を通じて、企業等の地域活動への継続的な応援の取組みを促すとともに、他の企業等においても地域活動応援の取組みの輪が広がることで、持続可能な地域コミュニティづくりの支援を目指しています。

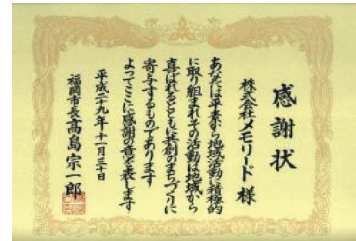
平成28年度は38の企業や商店街などに、平成29年度は29の企業や商店街などに感謝状を贈呈しました。本事例集に掲載している企業では、「株式会社マイマイ（平成28年度）」、「株式会社メモリード（平成29年度）」に感謝状を贈呈しました。



感謝状贈呈の様子



贈られた感謝状



おわりに

南区役所では、今後も「地域と企業等の縁むすび事業」を通じて、共創のまちづくりを推進します。この事例集が、企業等の地域貢献活動のきっかけとなることを願っています。

南区役所のホームページ内でも「地域と企業等の縁むすび事業」を紹介しています。ホームページでは、昨年度作成した地域活動事例集や、地域と企業のマッチング事例などを掲載していますので、ご覧ください。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/minamiku/k-shinko/shisei/tiikitokigyoutounoenmusubijigyou.html>

また、区企画振興課では、「地域貢献活動に取り組みたい!」、「地域貢献活動のきっかけが欲しい!」という企業・事業所等からの相談も受け付けていますので、お気軽にご相談ください。すでに実践されている企業等の地域貢献活動についての情報も求めています。ご協力いただける企業等からのご連絡をお待ちしています。電話・FAX・メール・ホームページ内の入力フォームをご利用ください。

「地域貢献活動をしたくても、どのように始めたらよいかわからない」という企業・事業所も多いと思います。そこで、最後のページに「地域貢献活動検討シート」を掲載しています。企業の地域貢献活動を始めるヒントとなるように4つのフレームワークを活用してください。事例集の先行事例も参考にいただき、みなさんも地域貢献活動を始めてみませんか。

地域貢献活動検討シート（記入欄に書き出してみよう）

① あなたの企業の持つ強みは何でしょうか？

- ・どのような従業員がいますか（人材）
- ・どのような場所がありますか
- ・どのような資機材がありますか
- ・事業につながることは何ですか

記入欄（例）・ 専門知識（薬剤師、栄養士等）をもつ従業員がいる
・ 駐車場スペースを貸し出すことができる など

② きっかけは、どのようなものがあるでしょうか？

記入欄（例）・ 公民館で開催されている地域行事に参加する
・ 自治会の運営の手伝いをする など

③ 強みを活かせる分野（ジャンル）はなんでしょうか？

記入欄（例）・ 市民の健康づくり
・ 高齢者の移動支援 など

④ どのような活動のイメージですか（規模や頻度、役割）？

記入欄（例）・ 毎月1回、地域カフェの場として自社のホールを提供する
・ 地域団体と協力して食育講座を実施する など

①～④を考慮することで、地域貢献活動がイメージできたら、お気軽に南区役所企画振興課にご相談ください。

フラワーシティ福岡 「一人一花（ひとりひとはな）」運動

大都市でありながら、身近に豊かな自然があること、これも福岡市の魅力の一つです。

さらに、日々の暮らしの舞台が美しい花と華やかな緑で彩られれば、少しでも心が豊かになり、都市の魅力はもっと高まります。

公共空間から民有地、個人宅まで、ありとあらゆる場所で、市民や企業一人ひとりが、そして行政が、みんなで力を合わせて花と緑を育て、彩りや潤いにあふれ、おもてなしと豊かな心が育まれるまち「フラワーシティ福岡」を創る取り組み、それが『一人一花』運動です。



157万人の市民のみなさんが一本ずつ花を育てれば、福岡市は157万本の花で満たされます。『一人一花!』『一企業一花壇!』を合言葉に、みんなで福岡を花と緑いっぱいのまちにしていきましょう。

南区役所でも、まちを美しい花と華やかな緑で彩る取組みを進めていきます。

～具体的な取組み例～

○スポンサー花壇

福岡市では、都心部におけるおもてなしのまちづくりを進めるため、企業の皆様から花壇の維持管理に係る費用を協賛金として頂き、花壇を設置する「スポンサー花壇」事業を展開しています。平成30年1月現在、28団体よりご協賛頂き、天神や博多の8箇所に「スポンサー花壇」を設置しています。



福岡市役所正面玄関前



スポンサー看板（例）

平成30年3月

福岡市南区総務部企画振興課

〒815-8501 福岡市南区塩原三丁目25-1

TEL:092-559-5016 FAX:092-562-3824

メール：kikaku.MWO@city.fukuoka.lg.jp

ホームページ：http://www.city.fukuoka.lg.jp/minamiku/k-

shinko/shisei/tiikitokigyoutounoenmusubijigyou.html